

松山・朝日八幡神社より『けんか神輿』がやってくる!

時を越えて神輿がぶつかり合う!

平成22年

4月3日(土) 雨天
決行

大山崎
離宮八幡宮周辺

何故、愛媛県松山市から“けんか神輿”が来るのか?のお話です

皆さん、『けんか神輿』ってご存知でしょうか?

愛媛県松山市で毎年10月に行われる、威勢のいい男衆達が地域の繁栄を願い神輿同士を激しくぶつけ合うお祭りです。

この度、離宮八幡宮創建1150年を記念して、松山朝日八幡神社より総勢400名の男衆と四体の『けんか神輿』が大山崎町にやって来ることになりました。

昔(平安時代～室町時代)から、大山崎の離宮八幡宮は油の神様とされています。それは当地で神仏に供える灯明に使う荏油(えのあぶら)を荏胡麻から効率良く絞る技術を神官が考案したことが始まりです。離宮八幡宮は油座の本所として隆盛し、大山崎の油座は様々な特権を時の幕府や天皇から得て全国に独占的に油を販売することによって、あまたの利益をあげ、町は大いに栄えました。その後、荏油(えのあぶら)の需要が増えるに従い、油の原料である荏胡麻を遠方からも買い付けることとなります。そこで仕入先となったのが気候も温暖で海上交通も便利な伊予の国、松山の地であったのです。そして「山城国の山崎」の離宮八幡宮より、松山朝日八幡神社に御霊(神様)が分けられ、お祀りされたことで互いに深い繋がりができました。

離宮八幡宮が見続けてきた1150年の大山崎と松山の歴史が『時を越えて神輿がぶつかりあう!』を合言葉にけんか神輿として蘇ります。観るもの全ての心を揺さぶる勇壮な祭りを是非お楽しみ下さい。

時間

● 10:50～11:30 神輿パレード(阪急大山崎駅周辺から離宮八幡宮まで)
お迎え太鼓 KO 鼓 KO 八幡太鼓 演奏

内容

● 12:15～12:45 神輿鉢合せ(離宮八幡宮内)
● 13:00～14:00 神輿鉢合せ(JR山崎駅前周辺)

大可賀相生会奉納獅子舞披露&太鼓コラボ獅子



主催: けんか神輿実行委員会・松山朝日八幡神社八幡会

後援: 大山崎町・大山崎町教育委員会・荏胡麻が照らす大山崎実行委員会

特別協力: 大山崎町社会教育委員会議・大山崎ふるさとガイドの会・大山崎町商工会・乙訓消防
大山崎町消防団・京都造形芸術大学・サントリー酒類(株)・アサヒビール(株)
都タクシー(株)・JR西日本・阪急電鉄(株)・京阪バス(株)・阪急バス(株)・(株)京都新聞社
京阪シティバス(株)・関西油脂連合会 (予定を含む 順不同 敬称略)

問合せ先: けんか神輿実行委員会事務局(ツタヤ兄弟商会内 蔦谷重直まで) TEL 956-3321

※駐車場のご用意はありませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします